

(条例) 様式第2 (第9条関係)

政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

8 年 7 月 1 5 日

犬 山 市 議 会

議 長 大 澤 秀 教 様

議員名 玉置ゆきや

下記のとおり、会派視察の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	8 年 7 月 1 3 日 (月) ~ 8 年 7 月 1 4 日 (火) (1 泊 2 日)
(2) 場 所	岩国市役所
(3) 形 態	会派 (創犬会) : その他 ()
	小瀬地区かわまちづくりについて
	木曾川かわまちづくりを今後どうするのか
	木曾川内田地区のかわまちづくりについて
	多額の費用がかかること、大きな街づくりになること
	犬山市にとっては大きな課題である。国との連携、地域
	の方の理解、民間事業者の協力などソフト面、ハード面
	共に整理していかなければならない。
	特に、名鉄との協議は必須と考える。
(5) 成果・提言	小瀬川の環境整備が長い年月をかけて、国に要望してき た中で国の方からかわまちづくりのスキームを提案さ れた。護岸改修やにぎわい創出など過疎化した地域の 更なる活用を図ることが事業の概要である。
	犬山市は、護岸改修とその上の道路整備が大きな計画の 柱となる事が予想されるが、そこに地域のアイディアを どの様に生かしていくか課題である。
	小瀬地区は人口も少なく、高齢化もしている地区では あるが元市職員がキーマンとなっている。当市としても 地域で中心になる人材の掘り起こしが重要である。



(条例) 様式第 2 (第 9 条関係)

政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

8 年 7 月 15 日

犬 山 市 議 会

議 長 大澤 秀教 様

議員名 玉置ゆきや

下記のとおり、会派視察の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	8 年 7 月 13 日 (月) ~ 8 年 7 月 14 日 (火) (1泊 2日)
(2) 場 所	岩国市役所
(3) 形 態	会派 (創犬会) : その他 ()
(4) 内 容	視察項目 錦帯橋の鵜飼い事業について
	木曾川鵜飼いを今後どうするのか
	昨年度鵜匠 2 名が退職をし、令和 8 年 7 月に新たな
	鵜匠を 2 名採用した。しかし、現状の犬山の鵜飼い
	は、乗客数も減っており、市として保存継承をするため
	に鵜匠の計画的な人材確保と船頭の育成も大きな課題
	である。鵜舎も老朽化しており建替えも含めて検討する
	必要がある。また、観光協会と木曾川観光株式会社と
(5) 成果・提言	今後、どの様に連携していくか考えなければならない。
	鵜飼いは観光のコンテンツの一つであるが、市がどこま
	で関与するかは、今一度見直す時期に来ている。人口減
	税収減が予想できる中で、市が保存継承をする為に
	今後の鵜飼い事業をどう展開するのか。
	岩国市は、鵜舟の運行及び遊覧船運行も観光協会で行っ
	ていた。船頭を一般応募して一定期間、仲乗りを経験し
	その後とも乗りに昇格させる。とも乗りを一定期間経験
	した後に現場の鵜匠の代表者、事業主体の長、等が認め
	た者を鵜匠見習いとするシステムになっていた。見習い
	が修練を重ね鵜匠となる事は次代の担い手確保で重要。